



予算案を議会で説明する高木市長

県都前橋の再生に加速を

市民が主役暮らし優先の予算

平成20年度の各会計予算が先月開かれた市議会第1回定例会で一部修正の上、可決しました。総額は2,282億4,185万円。新年度の主な事業や施策などを紹介します。なお、金額の1万円未満は端数整理しました。また、ホームページにも予算についての詳しい資料を掲載していますので、ご覧ください。

問い合わせは財政課 ☎890-6542へ。

市民サービスを最優先に

市長説明の要旨

平成20年度予算は、多くの市民が期待する「県都前橋の再生」の流れを加速し、これまで進めてきた「元気で楽しい前橋」が実感できるような市民が主役で、市民の目線と市民の思いに立ち、暮らし優先となるよう編成しました。本年度は、第六次総合計画スタートの年です。将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現に向け、計画に位置付けた事業を

「選択と集中」「成果指向」という視点で推進します。また、事業推進に当たっては、経営感覚を持った財政運営を基本に、市民力・地域力を発揮できる市政運営に努めます。予算編成に当たっては、子育て環境をはじめとした福祉・教育の充実や、市民生活の安全・安心などを第一に、できるだけ市民負担を増やすことのないよう、暮らし優先の視点

に立ち、市民サービスの充実を最優先にしました。

市債については、新市建設計画の着実な進捗を図るために、約57億円の合併特例債を発行します。しかし、事業を厳選し、将来の世代に過度な負担を残さないよう配慮したため、市債残高を11億円ほど縮減できる見込みです。

この結果、一般会計の予算規模は、総額1,226億5,414万円で、対前年度2・1%の減。これは、前橋プラザ元気21の取得整備や全国都

平成20年度各会計予算			
会計名	当初予算		
一般会計	1,226億5,414万円		
特別会計	国民健康保険	311億 687万円	
	老人保健	38億6,737万円	
	後期高齢者医療	30億1,591万円	
	競輪	237億7,026万円	
	農業集落排水事業	14億2,655万円	
	介護保険	183億9,202万円	
	簡易水道事業等	672万円	
	計	815億8,570万円	
	企業会計	水道事業	99億1,085万円
		下水道事業	134億1,281万円
農業共済事業		6億7,835万円	
計	240億 201万円		
合計	2,282億4,185万円		

限られた財源を有効活用

行財政改革を進めます

限られた予算を有効に使うため、これからはますます歳入の確保と効率的な経費の執行が必要。そのため、行財政改革を積極的に推進します。ここでは、具体的な主な取り組みについてお知らせします。

- 納率の向上に努めます。
- 広告収入の確保・拡充
広報紙などに有料広告を掲載します。(1,330万円)。
- 清掃工場の熱エネルギー利用・資源化物の売却促進
清掃工場で発生した熱エネルギーで発電し、電力を売却。また、回収したペットボトルや瓶・缶を売却して再資源化を図ります。(1億2,860万9,000円)。

歳入関係

市税滞納額の縮減

市税滞納額を減らすため、差し押さえ不動産の公売などを推進し、収

歳出関係

職員の削減

正規職員や嘱託職員の人数を減らし、人件費を削減します。(平成17年度から20年度まで4年間の削減累計147人、25億40万円)。

民間委託による経費の見直し

保育所の民営化、南部共同調理場の調理民間委託などを実施します。(9,985万2,000円)。

市債の繰り上げ返済による後年度負担の縮減

昨年度から3年間で高利率の市債約13億円を返済し、利子負担を軽減します。(1億3,000万円)。

借入金残高を縮減し健全な運営

……次の世代に過度な負担を残さないように……

市全体の借入金残高の状況		(単位 億円)						
区分	会計	15年度末残高②	16年度末残高	17年度末残高	18年度末残高	19年度末残高見込み	20年度末残高見込み①	15年度末との比較増減額①-②
前橋市	一般会計	1,465.2	1,425.3	1,398.6	1,375.6	1,363.1	1,352.5	▲112.7
	農業集落排水事業特別会計	38.8	41.4	43.3	45.4	48.8	52.2	13.4
	競輪特別会計	12.4	11.6	10.8	9.9	9.0	8.2	▲4.2
	水道事業会計	238.3	233.2	227.6	222.7	218.4	212.7	▲25.6
	下水道事業会計	528.1	522.6	514.8	504.7	498.6	491.8	▲36.3
	小計	2,282.8	2,234.1	2,195.1	2,158.3	2,137.9	2,117.4	▲165.4
市の関連団体	市土地開発公社	180.7	153.8	137.2	129.7	124.9	116.2	▲64.5
	前橋工業団地造成組合	193.0	173.3	172.9	147.8	129.4	104.4	▲88.6
	グリーンドーム前橋	22.3	13.8	9.5	6.7	4.4	2.4	▲19.9
	小計	396.0	340.9	319.6	284.2	258.7	223.0	▲173.0
合計	2,678.8	2,575.0	2,514.7	2,442.5	2,396.6	2,340.4	▲338.4	

・15年度から合併町村分を含めた残高で18年度までは決算額、19年度～20年度は見込み額です。
・グリーンドーム前橋の借入金はグリーンドームとドームパーキングの建設によるもので22年度に償還終了。
・市土地開発公社は短期借入金残高、前橋工業団地造成組合は短期借入金残高を含みます。

福祉、土木、教育関係をはじめとした事業を行う一般会計の借入金残高は、15年度末からの5年間で112億7,000万円が縮減できる見込みです。

また、20年度末の特別会計や市債連団体を含めた全体の借入金残高は2,340億4,000万円。5年間で338億4,000万円を縮減できる見込みです。今後も、借入金残高の縮減をさらに進め、健全な財政運営を行うよう努めていきます。